

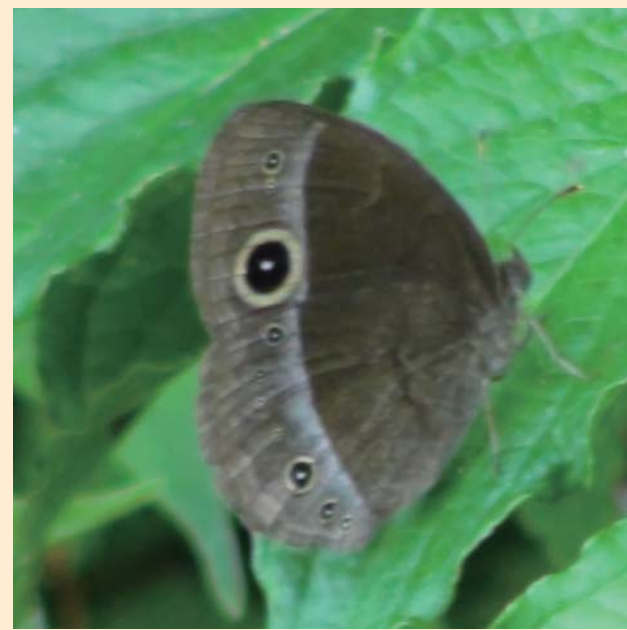
アルプス公園に生息するチョウ

アルプス公園には雑木林、草地、池など、多様な環境があるため、さまざまなチョウを見ることができます。

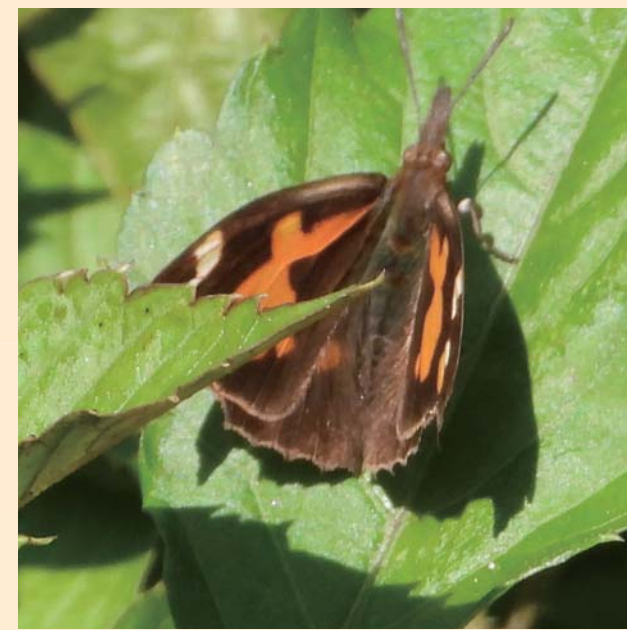
林～林の縁



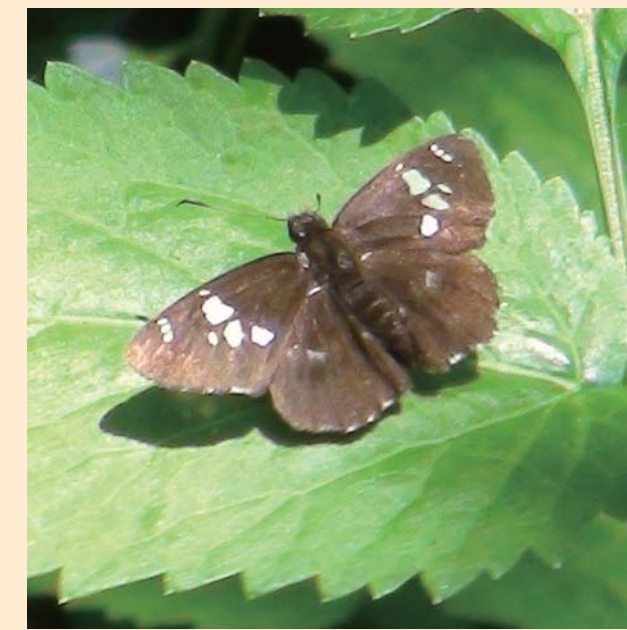
オオムラサキ



コジャノメ



テングチョウ



ダイミョウセセリ



ジャノメチョウ



スジグロシロチョウ

林～林の縁

草原

草原



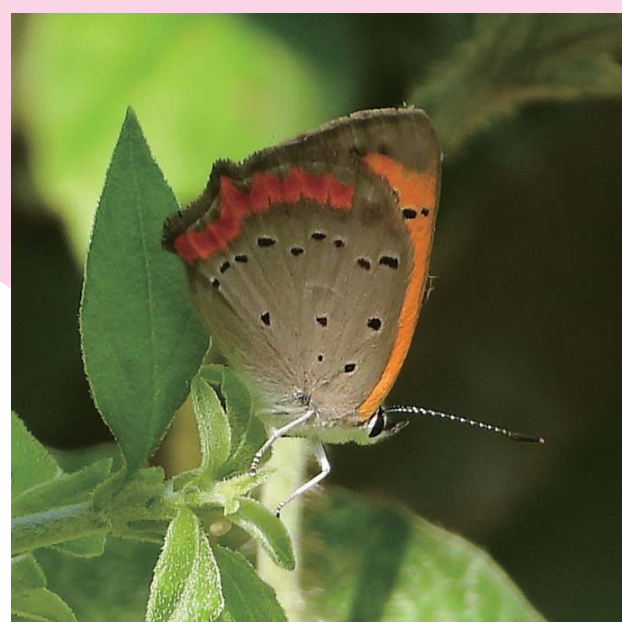
ツバメシジミ



ルリシジミ



イチモンジチョウ



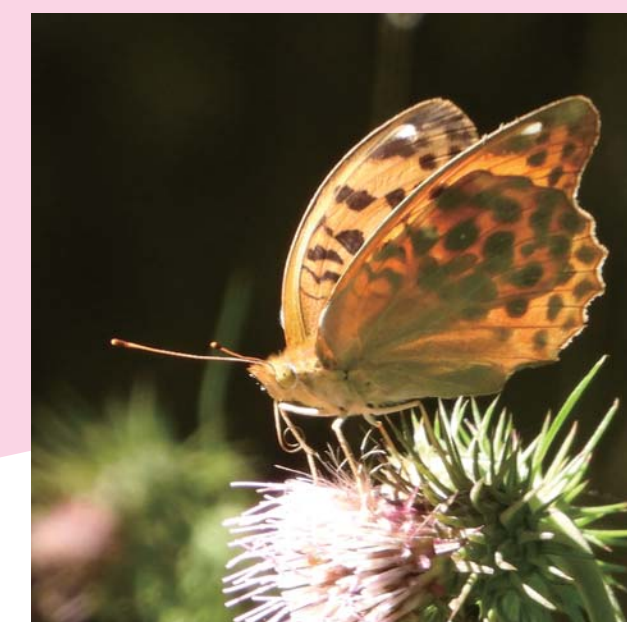
ベニシジミ



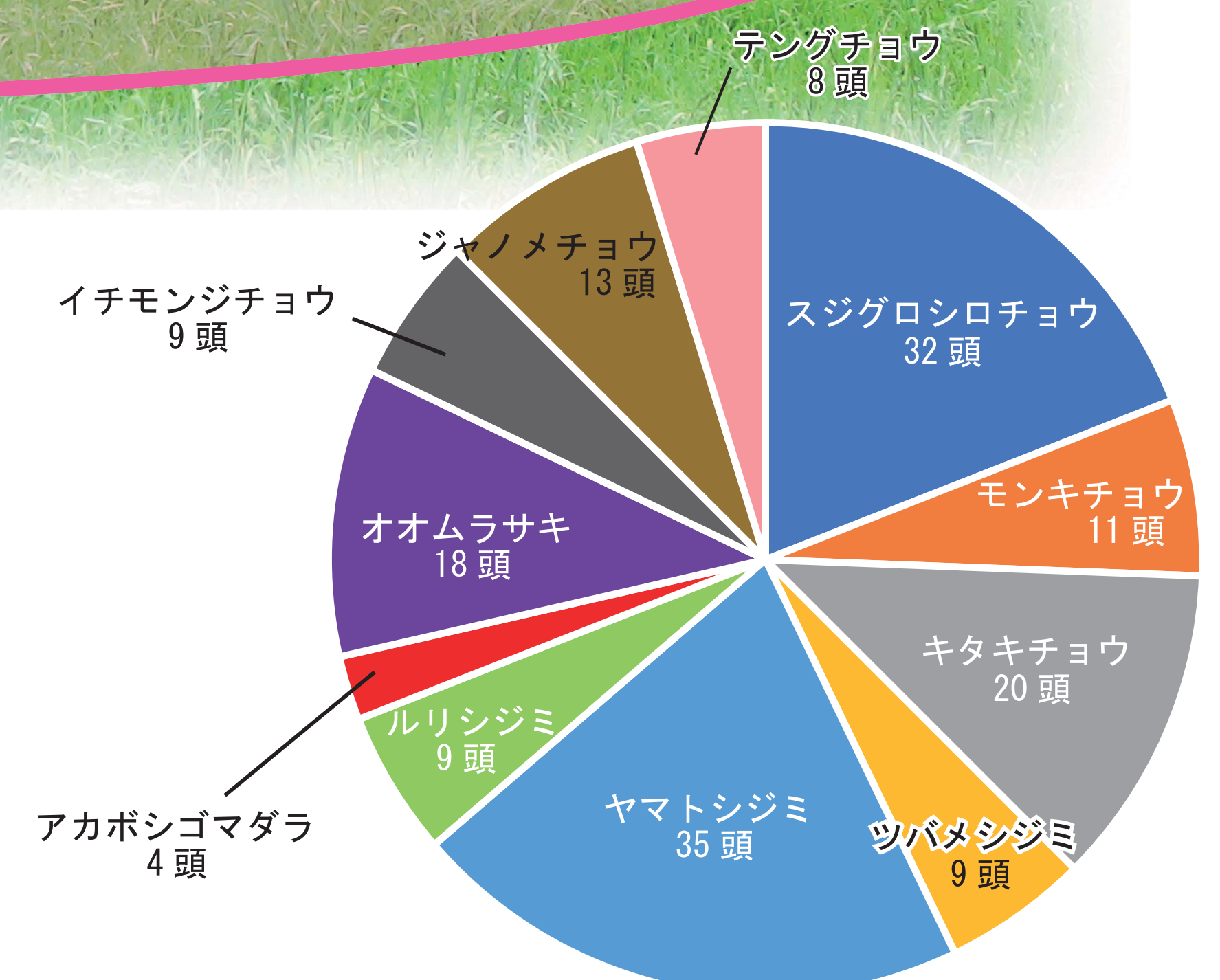
ヤマトシジミ



モンキチョウ



クモガタヒョウモン



アルプス公園で確認されたチョウと頭数

外来種について

アカボシゴマダラ（外来生物法※で「特定外来生物」に指定）の分布が確認されました。

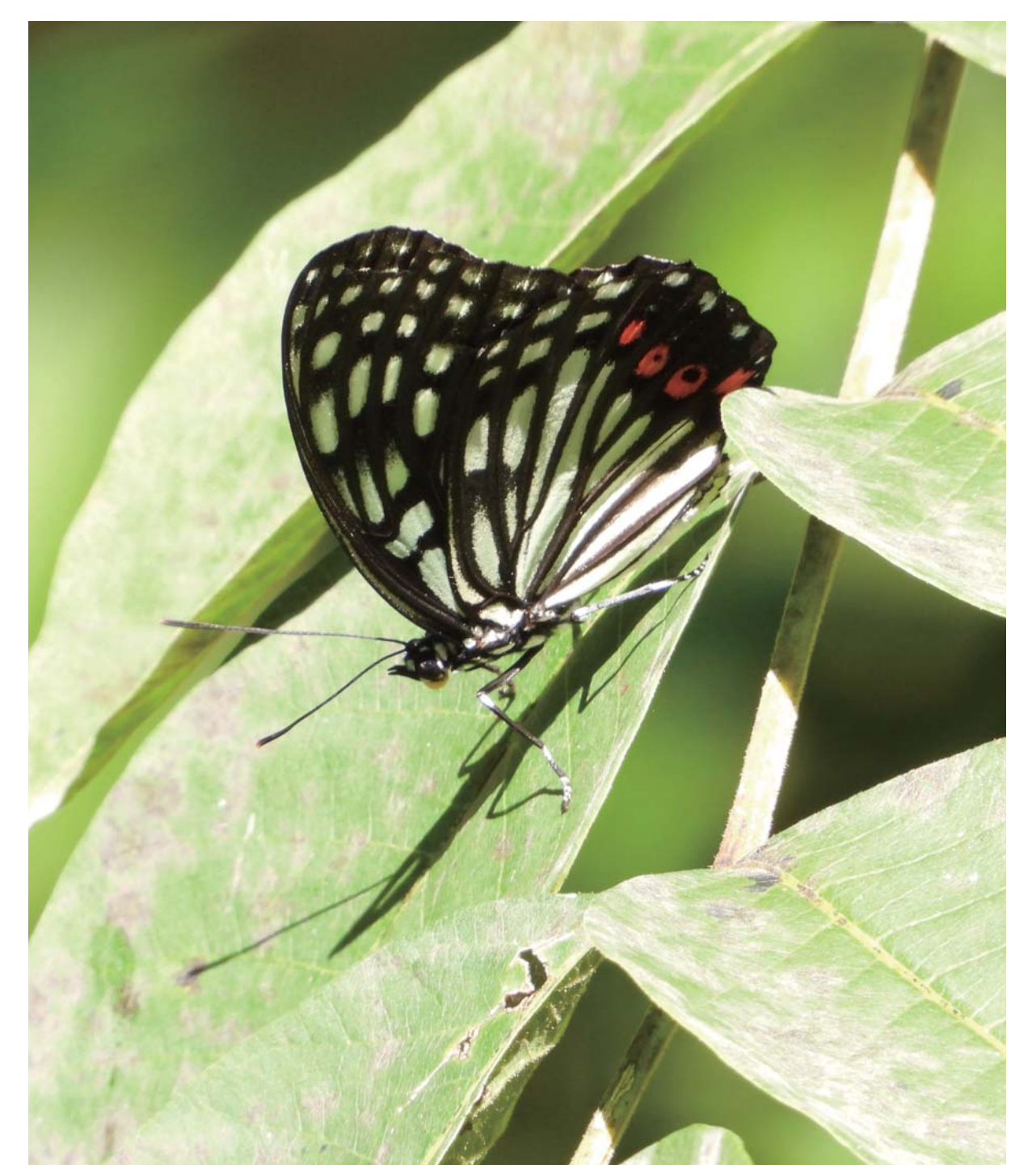
※「特定外来生物」とは、海外起源の外来種であって、生態系や人や農林水産業に被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれのあるものです。

国内での分布の経緯

アカボシゴマダラは 1990 年頃、中国から持ち込まれ愛好家の間で飼育されたいたものが、屋外に逃げたり、故意に放たれたりして増えた可能性が最も高いとされています。松本市内ではアルプス公園にも分布していることが分かりました。

在来種への影響

在来種であるオオムラサキ・ゴマダラチョウなどと食草において競合する可能性がある等の問題を抱えています。



アルプス公園内で撮影されたアカボシゴマダラ
令和 5 年 9 月 1 9 日撮影

■お問い合わせ

松本市 環境エネルギー部 環境・地域エネルギー課

☎ 0263-34-3268 E-mail s-kankyo-k@city.matsumoto.lg.jp

令和 6 年 3 月 1 5 日作成